

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日（土）から7日（金）は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間でした。期間中に多くの保護者や地域の皆様に参観していただきました。

3・4年生が中心に行ったもちつき大会では、全校児童、保護者、地域の皆様を交えて今年も美味しいもちがたくさんできました。

また、1・2年生と長寿会の皆様との交流会も行いました。長寿会の皆様とのふれ合いは、子供たちにとって、貴重な体験の場であり、有意義な時間となりました。



もちつき大会



長寿会との交流

町小中学校音楽発表会



11月8日（土）にあかね文化ホールで、町小中学校音楽発表会が行われました。大城小学校からは3・4年生10名が参加し、合奏「茶色の小びん」、合唱「赤いやねの家」を披露しました。発表会に向け、授業だけでなく、昼休みも練習に取り組みました。

当日はトップバッターで少し緊張していましたが、日頃の練習成果を十分発揮し、堂々と発表することができました。音楽発表会の様子は後日サンサンテレビで放送予定ですので、放送の際はぜひ御覧ください。



合奏「茶色の小びん」



合唱「赤いやねの家」

- 1日（月）創立127周年記念式典
 - // 学習発表会
 - // 家庭教育学級、学級PTA
- 4日（木）人権教室
- 5日（金）小小交流（1・2年）
- 9日（火）読み聞かせ（沖永良部高校生）
 - // 特別支援学級交流会（研修センター）
- 10日（水）持久走大会試走
- 12日（金）大城クリーン作戦
- 13日（土）土曜授業
- 17日（水）持久走大会（午前）
 - // 保護者教育相談（～18日）
- 19日（金）持久走大会予備日
- 24日（水）終業式
- 26日（金）仕事納め
- 1/5（月）仕事始め
- 1/8（木）3学期始業式（給食あり）

和泊町戦没者追悼式 作文朗読

「ぼくたちがつなぐ平和のバトン」 5年 島田 唯叶

ぼくにとっての平和は、青い空の下で、毎日を安心して過ごせることです。友達と笑い合ったり、家族といっしょにご飯を食べたり、当たり前の日がずっと続くこと。それがぼくが心から願う平和です。

先日、地域の村山さんのお話を聞く機会がありました。村山さんは、直接戦争を体験されたわけではないと教えてくれましたが、お話の中で、涙を流されていました。その姿を見たとき、ぼくは胸がしめつけられるような気持ちになりました。戦争を直接経験してなくても、村山さんの心の中には、戦争の悲しみや苦しみが深く刻まれているのだと感じました。そして戦争がどれほど多くの人々の心を傷つけ、悲しませるものなのかを改めて知りました。戦争は本当にたくさんの大切な命を奪ってしまう、恐ろしいものです。

宿泊学習では、歴史民俗資料館の伊地知さんから、ぼくたちが住む沖永良部島でも、戦争中に恐ろしい出来事がたくさんあったことを教えてもらいました。いつ敵が攻めてきてもいいように子どもたちが一生懸命に越山に「ほり」をほっていたという話を聞いて、とてもおどろきました。ぼくたちと同じくらい小学生が毎日毎日、土を掘っていたなんて信じられませんでした。越山に兵士の基地があったこと、そしてぼくたちが通っている大城小学校の校舎に兵士の人たちが寝泊まりしていたという話にもしょうげきを受けました。さらに、大城小学校では空しゅうがいつ起きてもいいように授業中にひなん訓練が行われていたそうです。ぼくたちが見上げているこの青くてきれいな空が当時の小学生にとっては、いつ爆弾が降ってくるかわからない、不安で恐ろしい空だったのかもしれない。そう想像すると胸が苦しくなりました。今のぼくたちが当たり前で平和な毎日を送れていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今は平和な時代だけど、いつかこの平和が失われてしまうかもしれない。そう考えるととても怖くなります。それが、もしかしたら戦争という形かもしれない。世界には今もお戦争が続き、平和ではない場所がたくさんあります。テレビのニュースで見る戦争の様子は、とても激しくて、恐ろしくて本当にたくさんの命が失われています。平和な毎日楽しくて幸せで、これからもずっと続いてほしいと心から思います。

なぜ戦争はなくなるんだろう。なぜ人は争い続けてしまうんだろう。村山さんの涙や伊地知さんから聞いた当時の沖永良部の話を通して、ぼくは改めてこの疑問を深く考えるようになりました。

今年は戦後80年になります。ぼくたちが今こうして学校に通って友達と遊んで家族で過ごせるのは80年前に戦争が終わったからなんだと強く実感しました。戦争を体験したたくさんの人々が二度と戦争が起きないようにと願い努力してくれたおかげで今のぼくたちは平和な時間を生きることが出来ます。

ぼくにできることは、本当に小さなことかもしれませんが、でも村山さんが涙を流して伝えてくれた戦争の悲しみや、伊地知さんが教えてくれた沖永良部の戦争の歴史をぼくは絶対に忘れません。そして、ぼくたちがこの平和な時間を守り未来につないでいくためには、まず平和についてもっと知ることが大切だと思います。戦争がなぜ起きるのか、どうすれば争いをなくせるのかを学び考え続けること。そしてぼくたちの周りの小さな平和を大切にすること。例えば友達とけんかをしそうになったときに相手の気持ちを考えてみたり、困っている人がいたら助けてあげたり、優しい言葉をかけたりすることです。そうした一つ一つの行動が、きっと大きな平和へとつながっていくはずですよ。

ぼくたち一人ひとりが平和のバトンをしっかり受け取り、未来へつないでいけるようにこれからも平和について考え行動していきたいです。そして、いつか世界中のだれもが、安心して笑顔で暮らせるようになることを心から願っています。

（お知らせ）【創立127周年記念式典】 12月1日（月）8時55分～
【学習発表会】 12月1日（月）9時50分～

創立記念式典後に全児童による島ムニでの発表（自己紹介など）があります。

また学習発表会では、各学年による舞台発表や作品展示などがあります。多くの皆様方に子供たちの日頃の学習の成果をご覧いただければ励みとなります。ぜひお越しください。

【祝賀会】 12月1日（月）18時30分～20時30分

場所：玉城公民館 会費：一人2,000円

※ 地域の方で参加希望の方は11月25日（火）までに大城小学校へご連絡ください。

（大城小 92-0075 教頭：古木<こき>）